

ダクト発生4～7エリア間オープン情報

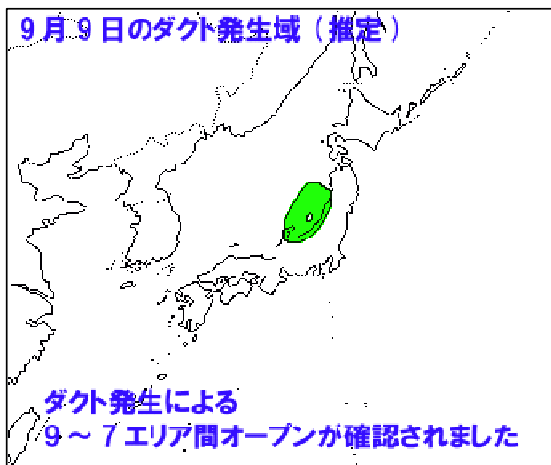
2006年 9月 8日～ 9日 JG0TEV 中村

8日はUA0,4～7エリア間オープン、9日には9～0エリア間オープンが確認されました。



ダクト発生によるUA0, 4～7エリア間オープンが確認されました。
J071ZC須藤さんからの情報。。。
・新潟県上越市移動局のCQIに対してUA0からのお声がけがあった。
・4エリアまでのオープンを確認。(深夜には6エリアレベーターも聞こえた)

日本海を中心に乾燥空気が流れ込み、上空の空気に対して下層大気が湿潤化したことによってダクト発生条件がそろいやすくなったと考えます。



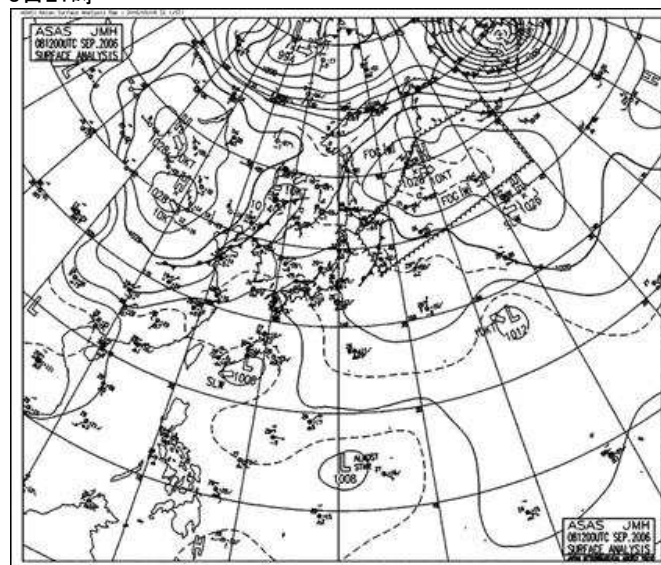
ダクト発生による9～7エリア間オープンが確認されました。
JG0TEV移動運用結果・・・
西山林道にて9～0エリア間オープンを確認(交信はせず)
J07ZC須藤さんからの情報・・・
9エリア能登半島までのオープン状態を確認。

気象解析

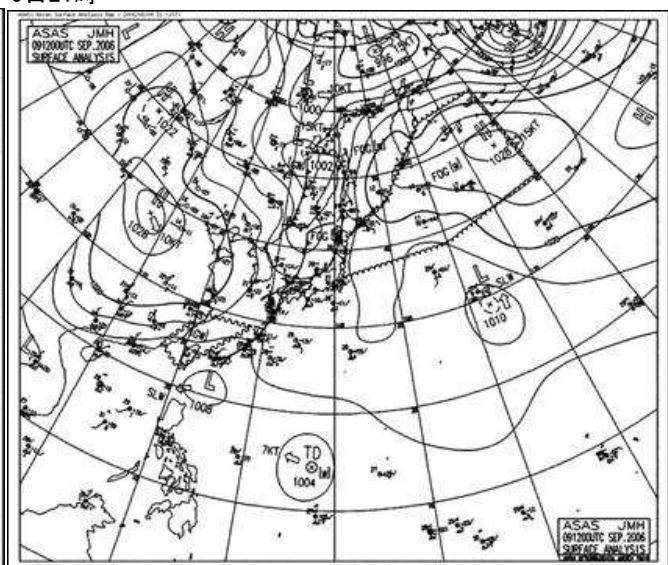
地上天気図からは高気圧の存在が不明瞭でダクト発生によるオープンとの関連は見つけにくい状態です。

地上天気図

8日21時



9日21時

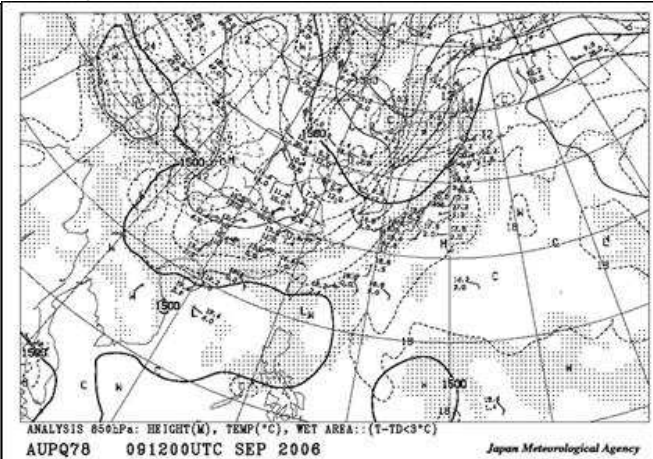
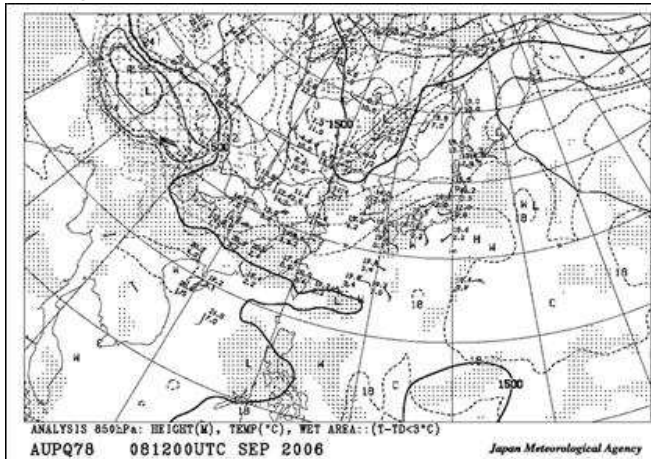


850hpa面解析図をみると、8日時点で日本付近は1,500mの等高線で囲まれた高気圧圏内にすっぽりと覆われていたことがわかります。20日は勢力が弱まりましたが日本付近はまだ高気圧勢力圏内です。

850hpa面高度・気温・湿数

8日21時

9日21時



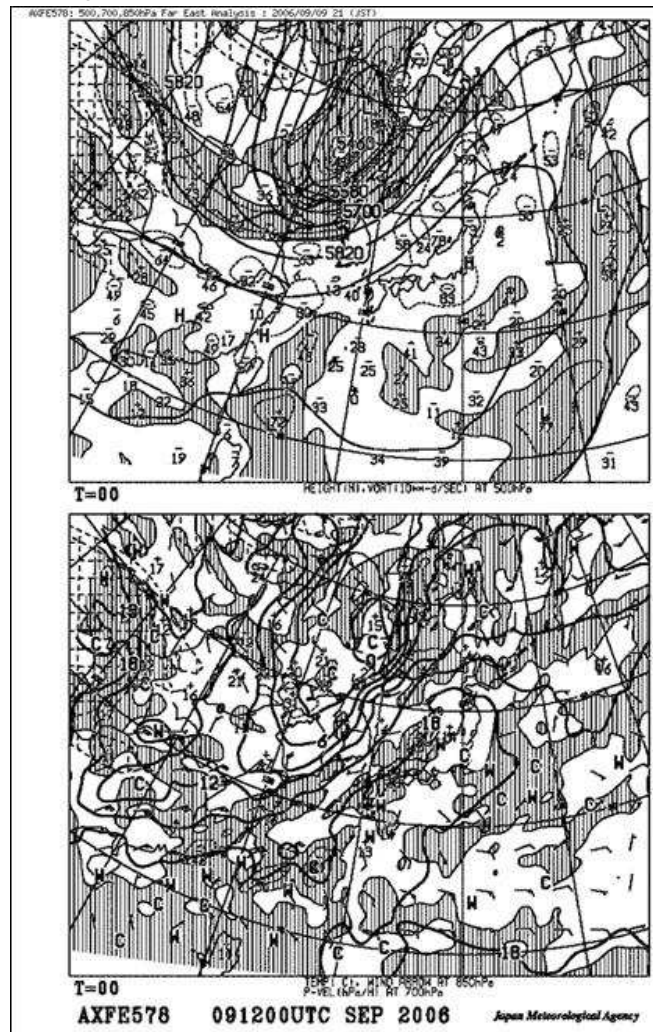
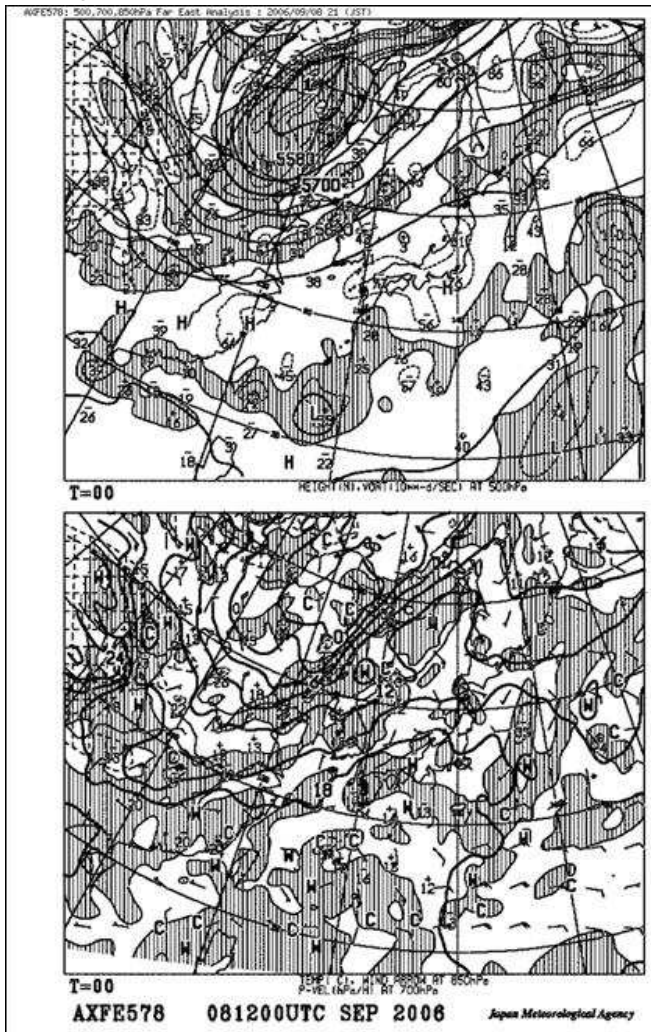
500hpa面の中層大気を見ると、5,880mの等高線は8日、9日とも日本海を横切っていて、負渦度領域は日本付近を広く覆っています。

700hpa面鉛直流は8日を中心に日本海に下降流域の広がりが確認できます。

500hpa面高度と渦度・700hpa面鉛直流と850hpa面気温

8日21時

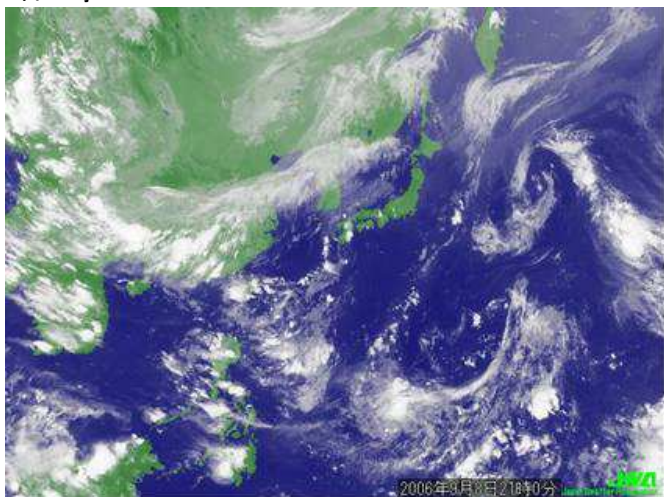
9日21時



以上から、8日から9日にかけて上空の高気圧に覆われてダクト発生条件がそろいやすくなったものと考えます。

【参考】赤外線雲画像

8日21時



9日21時

